

東日本ハウスの耐震＋制震住宅「グッドストロング工法」 価格据え置きで標準装備 「制震パネル」＋「太陽光発電システム」

東日本ハウス株式会社は、「日本の住文化に貢献する」という企業理念のもと創業当時から時代に先駆け、耐震技術と日本の自然素材を活かした住宅建築を探究し続け、丈夫で長持ちする家づくりを進めて参りました。

床(ストロング床組)、柱(檜4寸無垢柱)、壁(大臣認定5倍壁)からなる優れた耐震性能を実現しておりましたが、今回この耐震性能にプラスして制震パネルを構造に取り入れた「グッドストロング工法」を開発致しました。

「グッドストロング工法」は何度も繰り返し起こる地震等の揺れに強さを発揮致します。

今後はこの「グッドストロング工法」と「太陽光発電システム」を価格据え置きで標準搭載し販売して参ります。これからも、日本の住文化に貢献出来るよう、努めて参ります。



■地震に粘り強く耐える「グッドストロング工法」

骨太の構造部材や強度の高い基礎、地震に強い工法などの採用で、強固な構造躯体を実現。

床

最高水準を誇る
「ストロング床組」。



「グッドストロング工法」は、2階の床構造を強化する事により、地震などの揺れの力をスムーズに分散し、建物の「耐震＋制震」構造を向上させる働きをします。

柱

4面に切り溝を入れた
「檜無垢柱」。



柱には乾燥の際に入る恐れのある、ヒビ割れを分散させる細い切り溝を、4面(バランス4スリット)に入れた檜無垢柱を採用。
※北海道は「檜集成材」となります。

壁

地震の揺れを軽減する
「制震パネル」を標準装備。

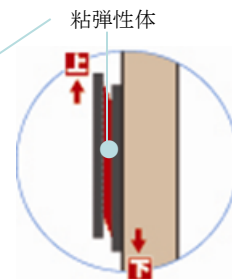
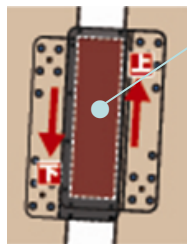


耐震壁だけを設置した場合に比べ、制震パネルを設置した住宅は揺れを5cm以下に抑え、建物へのダメージを防ぐことができます。
※建物条件等により値は異なります。

■ 制震パネル内部には、地震エネルギーを吸収する「粘弾性ダンパー」を搭載。



地震エネルギー吸収装置
(粘弾性ダンパー)



粘弾性体が、揺れを熱に変換し吸収します。

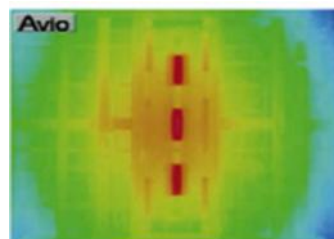
粘弾性ダンパーで採用している粘弾性体は、エネルギー吸収性と剛性のバランスを考慮した材料です。この材料は、熱安定性・耐候性・減衰性に優れています。この粘弾性体で作ったプレートにボールを落とすと、ほとんど弾むことなく静止します。粘弾性体が、落下の衝撃を熱に変換し、吸収するからです。



粘弾性体のプレート
衝撃を熱に変換



一般的なプレート



緑色:常温 赤/ピンク色:高温
赤・ピンク色の高温でも30℃前後で安全です。

■ 安全な太陽光発電システムでゼロエネへ



太陽光発電システム標準搭載

太陽光発電による電力利用はもちろんのこと、日中に余った電力を電力会社に売ることにより年間の光熱費を大きく抑え、ゼロに近づけることができます。

■ 販売開始／2012年11月10日(土)

■ 販売エリア／全国

■ 本件に関するお問い合わせ

東日本ハウス株式会社
〒102-0072 東京都千代田区飯田橋4-3-8
URL: <http://www.higashinihon.co.jp/>

担当: 木村 力
TEL: 03-5215-9893 FAX: 03-5215-9909
E-mail: tkimura@higashinihon.co.jp